

黒塗り下駄配列

5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	Ctrl + V	Esc	Del
お	さ	こ	へ	ー	ー	る	す	つ	り	あっ	Ctrl + C	
て	た	か	う	く	き	し	い	ん	と	Enter	Ctrl + X	
ら	せ	ま	ひ	ー	ー	っ	そ	や	れ	。		

5	4	3	2	1	1	2	3	4	5
ぢ	ざ	ご	べ	わ	あ	め	ず	づ	ぼ
で	だ	が	ば	ぐ	ぎ	じ			ど
ぶ	ぜ	ね	び	お	う	げ	ぞ	。	ぬ

5	4	3	2	1	1	2	3	4	5
ち	ゆ	ろ	ぺ	ぷ	ヴ	あ	よ	む	ほ
な	え	も	は	わ	み	に			の
ふ	ぱ	ぽ	び	え	い	け	、	、	。

5	4	3	2	2	1	2	3	4	5
			を						

黒塗り下駄配列

5--4		4--3		3--2		2--1		1--2		2--3		3--4		4--5	
QW	%	WE	/	ER	!	RT	ㄱ	YU	₩	UI	?	IO	\	OP	*
AS	=	SD	.....	DF	。	FG	&	HJ	~	JK	,	KL	.	l;	+
ZX	@	XC	—	CV	:	VB	#	NM	\$	M,	;	,.		./	^

5--3		5--2		5--2		5--3	
QE	——	QR	[]	UP	{}	IP	<>
AD	『	AF	「」	J;	()	K;	』
ZC	‘	ZV	“	M/	”	,/	,

5--2		4--2		3--2		2--3		2--4		2--5	
QF	`	WF	—	EF	—	IJ	—	OJ	—	PJ	’
AV	ゃ	SV	ゅ	DV	.	KM	,	LM	よ		

2--1		1--2	
RG	カ	UH	ヶ
FB	ゐ	JN	ゑ

5	4	3	2	1	1	2	3	4	5
なら			によ	ぴゅ	みゅ	りゅ			とり
きに			にゅ	ぴよ	みよ	りよ			
らない	イエ	ツイ	にゃ	ぴゃ	みゃ	りゃ	フュ	ヴュ	テュ

5	4	3	2	1	1	2	3	4	5
けっ	さい	しっ	きゅ	ひゅ	ちゅ	しゅ			
さま			きよ	ひよ	ちよ	しよ			かつ
かい	けん	たっ	きゃ	ひゃ	ちゃ	しゃ	そく	うか	れは

5	4	3	2	1	1	2	3	4	5
げっ	ざい	じっ	ぎゅ	びゅ	ぢゅ	じゅ			
ざま			ぎよ	びよ	ぢよ	じよ			がっ
がい	げん	だっ	ぎゃ	びゃ	ぢゃ	じゃ	ぞく	うが	れば

黒塗り下駄配列

5	4	3	2	1	1	2	3	4	5
			チェ	ヂェ	ジェ	シェ			
				ティ	ディ				
ツォ	ツェ	れる	ファ	フィ	フェ	フォ	れる	ツァ	デュ

5	4	3	2	1	1	2	3	4	5
ただし、									
ので、	なぜなら、	から、	というのも、	その理由は、	結論として、	だから、	それゆえ、	したがって、	たとえば、

5	4	3	2	1	1	2	3	4	5
しかし、	だが、	そして、	しかも、	むしろ、	要約すれば、	すなわち、	つまり、	言い換えれば、	

5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6
ヴァ	ヴィ	ヴ	ヴェ	ヴォ						
クァ	ウィ	トゥ	ウエ	ウオ						
グァ	クィ	ドゥ	クエ	クオ						

黒塗り下駄配列

5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6
しそうだ	だろう	ことだろう	するそうだ	そうだ						
にちがいない	とはかぎらない	かもしれない	はずだ	ことがある						
らしい	のではないか	のだろう	みたいだ	ようだ						

5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7
ものだ	ざるをえない	ほうがいい	ことはない	といい							
ことだ	しかない	てはいけない	てもいい	たらしい							
べきだ	ないわけにはいかない	なくてはいいけない	なくともいい	ばいい							

5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6
ます	ました	ない	なかった							
しいです	しかったです	しくない	しくなかった							
です	でした	ではない	ではなかった							

5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7
ません	ませんでした	ないです	なかったです								
しくありません	しくあり ませんでした	しくないです	しくなかったです								
ではありません	ではあり ませんでした	ではないです	ではなかったです								